

職員各位

看護局 原子

令和7年度看護の日実施結果報告

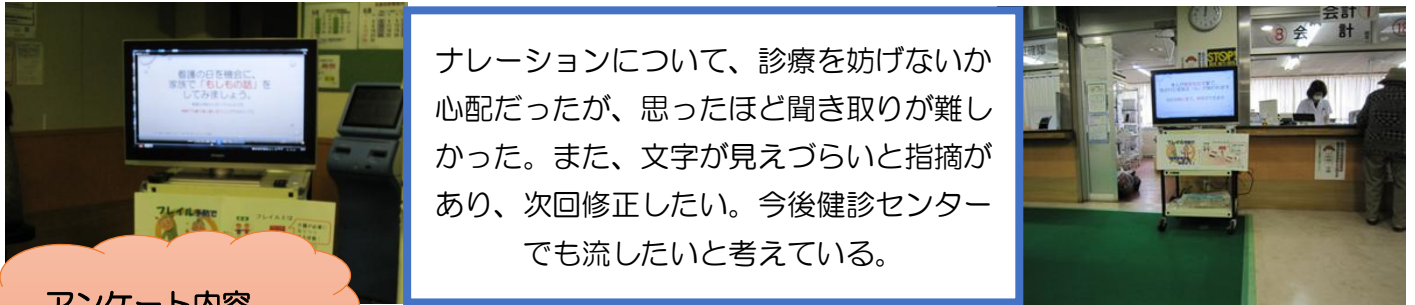
令和7年度の看護週間(5/11~5/17)にあたり、当院では5/15(木) ACPWGによる「ACPの普及活動の一環で、外来通院の患者様やご家族に対して、将来意思決定能力が低下した場合に備えて、望む医療・望まない医療や看護など話し合うきっかけを作ってほしい」と考え、スライドショーを実施し、視聴した後にアンケート聴取を行いました。以下、実施した様子を報告します。

実施日：令和7年5月15日(木) 10:00~12:00

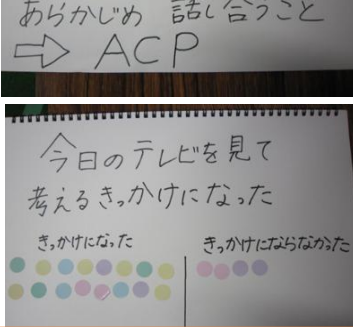
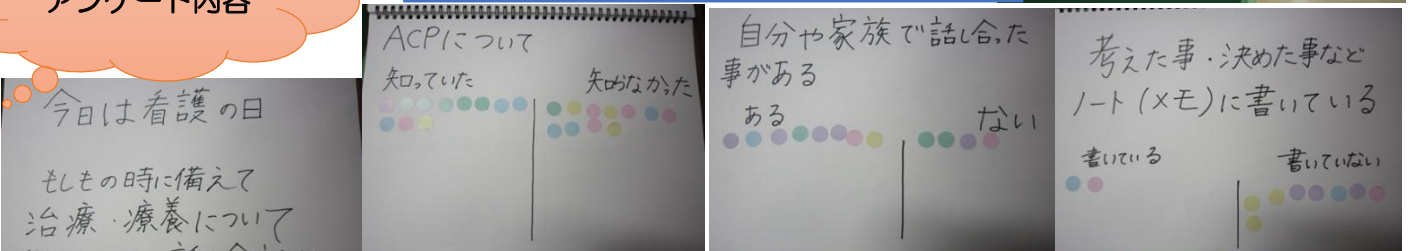
場所：展示物は、正面玄関 (ACPリーフレット・低栄養に関する冊子)

スライドショーの視聴は、内科外来前と医事課前に画面を設置

方法と対象者：当日外来に受診に来た患者とその家族。5分程度の2021年度作成した「看護局から住民の皆さんへ考えて欲しい事」のスライドにナレーションをつけ、その後にアンケートを直接聞きながら、当てはまる方にシールを張る。



アンケート内容



アンケート聴取は、画面をみている人や、興味を示している人をねらって、聞き取りしました。ACPについて、知っている・話し合っている人が予想より多く、話を聞くと「妻の時・夫の時 大変だったから、自分の時は迷わないようにきちんとしてあげたい。」「自分は、何もしなくていいと思うし、夫もそういつている。でもその事を子供達には話していない」などいろいろ話してくれました。

編集後記：
縁起でもない事と話しても、自分たちの経験や本当にこれで良かったのか、ずっと抱えている人が多く、終末期の医療について話す場を、みんな欲しいと思っているのではないかと話を聞いて思った。また、「きっかけにならなかった」の意見の人は、その時にならなければ、考えられないのも正直な意見であり、ACPの周知普及に関して、行動しないと始まらないとも思いました。K

